



OPEN CAMPUS

開催日時や場所、内容など、
詳しくは大学のHPに
掲載します。



GLOCAL RENOVATOR

— 農林業に新風を —

農林業分野4年制公立専門職大学

東北農林専門職大学

TOHOKU PROFESSIONAL UNIVERSITY OF AGRICULTURE AND FORESTRY

2024年4月
開学

ACCESS

電車で来学の方

JR奥羽本線新庄駅下車
新庄駅よりタクシー利用約15分
または
山交バス(県立病院～鳥越線)
「農大入口前」下車、
徒歩20分程度

※開学にあわせて、大学校舎前への
バス停留所設置が計画されています

自動車であ来学の方

東北中央自動車道
新庄I.Cを降りて国道13号線へ。
山交バス「農大入口前」を西に約1.4km



東北農林専門職大学

TOHOKU PROFESSIONAL UNIVERSITY OF AGRICULTURE AND FORESTRY

【お問い合わせ先】
山形県農林水産部専門職大学整備推進課
〒990-8570 山形県山形市松波二丁目8番1号
TEL 023-630-2480
<https://www.ynodai.ac.jp/university/>

【キャンパス住所】
〒996-0052 山形県新庄市角沢1366



GLOCAL RENOVATOR

— 農林業に新風を —

変革から、発展へ。 農林業新時代。

Management for Agriculture and Forestry

専門職大学が育てる新しい人材が
これからの農林業を変革していきます。

地域の主力産業である農業、林業が今、変化と希望の時をむかえています。

社会・世界が大きく変化する中、農林業を持続可能な産業として発展させ続けるために、
農林業分野の4年制公立専門職大学という新しい学びのステージが登場します。

東北農林専門職大学ではスマート農林業など最新の生産技術と、国際市場にも通用する経営理論、
そして農業・森林業の知識、幅広い教養を身につけることができます。

やがて世界の視点(GLOBAL)と、地域(LLOCAL)のこまやかさを備え、
農林業の枠組みを変革できるGグローバルLOCALリノベーター RENOVATORとして
これからの時代の中核となり活躍してくれることを期待します。



変革のときにこそ好機あり。 ここから農業・森林業の未来へ羽ばたこう。

今、世界は大きく変わりつつあります。マーケットは大きくなり、AI、DXなどかつてない技術革新が進んでいることに加え、SDGsに代表される環境共生型社会の構築への取組みが重要になっています。さらに、ウクライナ情勢など日々国際情勢は変化しています。

こうした世界的な変化の中で、日本の基盤を支える農業・森林業はさらに発展していく可能性を持っています。

2024年4月、優れた技術と経営力を持って農業・森林業をリードし、世界に羽ばたく人材を育成するため、山形県新庄市に東北農林専門職大学が開学します。

農業・森林業には、若い力と情熱をかける価値と魅力があります。私たちは、そのために数多くの教育・研究のフィールドを山形県を中心とする東北全体に準備して、皆さんをお待ちしています。

私たちと一緒に、山形・東北、そして日本の農業・森林業の未来を築いていきませんか。

東北農林専門職大学 学長予定者
神山 修 Osamu Kamiyama

INDEX

変革から、発展へ。
農林業新時代。…………… P1

東北農林専門職大学
まるっ!わかり POINT 10 ……………P3

君の想いが
地域を変え、未来を創る ……………P5

施設・キャンパス紹介 ……………P7

農業経営学科 ……………P9

農業経営学科の
カリキュラム …………… P11

森林業経営学科 …………… P13

森林業経営学科の
カリキュラム …………… P15

学費・奨学金・入試情報 …………… P17

PROFILE

昭和60年4月 農林水産省入省
在ドイツ日本大使館一等書記官、茨城県農林水産部長、東北
大学大学院法学研究科教授、文部科学省大臣官房審議官、近
畿農政局長、農林水産政策研究所長など、海外、地方公共団
体、大学、他省庁を含む農林水産行政にとどまらない多彩な行
政分野を経験

注目! 君の未来が見える!

東北農林専門職大学 まるっ!わかり POINT10

1. 大学より、 専門職大学、 という選択。

時代が求めた
4年制大学の新しい制度。
これからの社会で
活躍を期待されています。

「専門職大学」は、2017年の学校教育法の改正によって新たに設定された大学です。大学のうち「深く専門の学芸を教授研究し、専門性が求められる職業を担うための実践的かつ応用的な能力を展開させること」を目的とするものが専門職大学です。修業年限は4年。卒業すれば「学士(専門職)」の学位が得られます。専門知識や技術の習得に加えて、企業や施設などでの実習で、実社会で実際に働きながら知識や技術を磨き上げる機会が充実しています。



2. 農業・森林業だけじゃない。 学べることは多種多様。

4年制大学だからこそ、
幅広いカリキュラムを選択できて将来の可能性も広がります。

農業経営学科、森林業経営学科ともに専門分野の知識だけでなく、デザイン論や発酵学・醸造学、建築学など関連する他分野の幅広い科目を選択することが可能なので、将来進む道の可能性を広げることができるでしょう。



3. いま農業に 未来が 来ている。

技術の進歩と時代の変化が
農業発展の
新たな追い風です。

IT技術の活用によって農業分野のビジネスの可能性が広がっています。デジタル技術により温度管理や水やりなどが容易にできる「スマート農業」が注目され、WEBやSNSを活用したPR・販売はごく普通のことになりつつあります。環境の変化を乗り越え安定した経営を技術とアイデアで実現できる時代といえるでしょう。

5. 国際化に対応した勉強って、 何ができるのかな?

世界のマーケットに対応できるよう
必要な知識と能力を身につけます。

農業も森林業も国際化することが当たり前の時代です。世界的な視点に立って物事を考えるために国際農業論、国際森林業論など世界の中での自らの位置を理論として学びます。希望する学生には海外実習で学ぶ機会もあります。

4. 森林業分野 の仕事が、 おもしろい。

「スマート林業」が
活躍しています。

東北をはじめとした山間部は、持続可能な森林資源が豊富な宝の山です。様々な森の恵みに着目すれば、森林業の可能性は無限に広がります。また、近年話題の「スマート林業」により、機器の自動化や遠隔操作などで少人数でも木の伐採や搬出ができるようになりました。



6. 実習先を、 合計300ヶ所以上確保。

山形県内を中心に、東北全体に
特色ある実習先を確保しています。



専門職大学の一番の魅力は実習の充実ぶりです。大規模な稲作経営体や6次産業化*を実践する法人、スマート林業を行う森林業事業者など、山形県、東北をリードする多種多様な実習先を300ヶ所以上用意しています。「臨地実務実習」は2年次から4年次まで毎年30日間、合計90日間を原則同じ実習先で行われます。目指す進路に合った実習先でリアルな現場を継続的・総合的に学ぶことができるでしょう。

*6次産業化とは、農業を1次産業としてだけでなく、加工などの2次産業、さらにはサービスや販売などの3次産業までを含め、1次から3次まで一体化した産業として農業の可能性を広げようとするもの。

7. 専門職大学だから 先生が ハイブリッド!

実際の現場での経験豊富な実務家教員と、
研究実績の豊富な研究者教員がいます。

各専攻分野に「研究能力のある教員」と「実務能力のある教員」とを各1名以上配置し、「理論と実践」をつなげるハイブリッドな教育研究ができる体制としています。

8. 質の高い教育を 実現できる少人数体制。

少人数教育で、
理論と実践をしっかりと学べます。

本学のめざす教育は知識と理論に裏付けられた技術を身につけ、将来、時代の変化に対応した戦略的な農業経営を行うとともに、地域のリーダーとなる人材を育成することです。そのために選ばれた少数精鋭の学生に、幅広い知識と技術、課題解決の実践的手法などをしっかりと学んでもらいます。



9. キャンパスは どんなところ?

新築の校舎、
学内の圃場や演習林など
充実した学びの環境です。

新築の校舎は、講義室や実験室など学びの拠点となる教育研究棟と、大講義室や図書館など学生と全国の研究者や地域のみなさんとの交流の拠点となる交流棟の2棟建てとなっています。また、広大な敷地内に圃場やハウス、畜舎、演習林があり、理論と実践を身近に学ぶ環境を整えています。

10. 山形県の みなさんが応援しています。

農林業界や行政、地域のみなさんが、
新大学の挑戦を応援しています。

山形県内の農林業界、県、市町村、地域のみなさんが一緒になって大学の教育・研究や学生の卒業後の進路を応援する体制となっています。また、「まつり」や「まちおこし」など地域の活動に積極的に参加することや、地域ブランドや商品開発などで地域の企業などと連携することも想定しています。





輸入の食べ物が多いね。 いざというとき大丈夫？

現実の状況を知ることから始めよう。

からのアプローチ

▶ 国際農業論

国際関係や海外農業の最新動向から、食料問題をどのように解決できるか考える。

からのアプローチ

▶ 栽培各論

日本のような国土が小さい国でも、狭い面積で大きな収穫ができれば、問題を解決できる。

からのアプローチ

▶ マーケティング論

市場調査や研究から、どのような作物を作ることが利益を生みやすいか、マーケティングの視点から考える。



なぜ世界には、 仲の良くない国があるんだろう？

海外にチャレンジできる基礎力を身につける。

からのアプローチ

▶ ビジネス英語

相手のことを考えるというビジネスの視点から、国の問題に注目してみる。相手の言語を理解することからお互いを理解する。



からのアプローチ

▶ 国際農業・森林業実習

実際に海外に行って、農業や森林業を学ぶ。交流することで日本をもっと知ってもらえるきっかけになるかも。

君の 思いが 地域を変え、 未来を創る

ふと思いついたこと。
それが未来へつながる道かもしれません。
東北農林専門職大学は多種多様、幅広い学びで、
君の未来の選択肢を増やします。

環境との共生って 何ができるのかな。

環境に関わる問題を探求する。

からのアプローチ

▶ 先端農業技術論

スマート農業を導入、実践することで、より環境にやさしく効率的な農業を実現できる。

からのアプローチ

▶ SDGsと農業・森林業

農林業生産に起因する環境問題とその対策について考え、SDGsの達成・実現につなげる。

からのアプローチ

▶ 森林生態系サービス保全利用論

森林生態系の保全による生態系サービスの持続的な提供から、持続可能な社会、循環型社会の形成を考える。

からのアプローチ

おじいちゃんが 昔は街がもっと 元気だったって。ほんと？

地域を元気にするために学ぶ。

からのアプローチ

▶ 山形・東北観光学

観光を通じて地域をもっと元気にするために、事業の開発まで考えてみると面白い。

からのアプローチ

▶ 農山村活性化論演習

地域の課題は様々。解決する仕組みを考えて、地域を引っ張るリーダーを目指す。

なんでもデジタルの時代だけど、 高齢者の方たちは不便じゃない？

どうすれば便利になるか学ぶ。

からのアプローチ

▶ 社会福祉論

デジタルの良さを活かし高齢者が働きやすい仕組みづくりを考える。

からのアプローチ

▶ 先端森林業技術論

先端技術（ICT、レーザー森林解析、ロボット等）を活用することで、高齢者にもやさしい森林業を考える。

作った作物を 自分で売りたい。

開発力・販売力を身につける。

からのアプローチ

▶ 食品製造・販売

農産物を作るだけじゃない。食品の製造や販売についても学ぶ。

からのアプローチ

▶ デザイン論

デザイン・企画の方法を学び、消費者の共感を得られる商品や販売方法を考える。



CAMPUS MAP 施設・キャンパス紹介

2024年4月の開学に向けて、
約100haの広大なキャンパス内に着々と工事が進む新しい学び舎。

高等教育機関にふさわしいアカデミックなたたずまいを感じさせ、
若い世代の新しい可能性を育む創造的な雰囲気があります。
地域の気候風土をふまえ快適な学習環境とするべく、十分な機能と革新的なデザインを備えています。



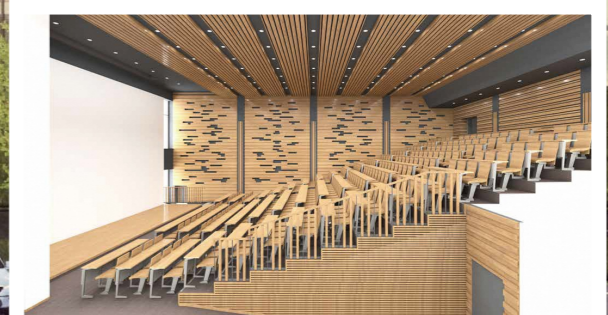
学生食堂イメージ

東北農林専門職大学イメージ

※イメージは変更になる場合があります。



図書館前ロビー イメージ



大講義室イメージ



キャンパス図

2年制の農林大学校も同じキャンパスに併設されています。



講義室・演習室

- 大講義室 (302席) ※地域住民等も利用可能
- 専門職大学用: 講義室3~6; 演習室7~12
- 農林大学校用: 講義室1・2; 演習室1~6
- ICT・GIS教室

大学教員研究室・学生演習室

- 教員研究室 (30室)、学生演習室 (6室)
- ※教員研究室 (5室) + 学生演習室 (1室) を1ユニットとし6編成を予定

実験室

- 実験室1 (品質評価)、実験室2 (化学分析)

事務部門

- 学長室、学部長・学科長室、事務局長室、事務室、秘書室
- 農林大学校職員室、校長室、職員更衣室
- 応接会議室、会議室1~3、警備員室、印刷室、書庫・倉庫

医務室等

- 医務室、カウンセリング室

福利厚生施設

- 学生食堂、厨房、自動販売機コーナー、学生ラウンジ
- ※学生食堂は地域住民等も利用可能
- 専門職大学生用更衣室

大学附属図書館

- 閲覧席、レファレンスコーナー、図書館ロビー、書庫・整理室
- 学生自習室
- ※蔵書数: 開架約4万冊、閉架約1万冊を想定
- ※地域住民等も利用可能

附属施設

- 圃場 (水田、畑地、果樹園、野菜・花き(露地、ハウス))
- トラクター練習場
- 畜産実習棟 (牛舎、牧場)
- 演習林

農業経営学科

農業経営のプロフェッショナルを育てる。

農業経営学科では、新しいかたちの農業の中核となるべきリーダーを育成していきます。これからの時代を担うのは、変化を恐れず、何事にも柔軟に対応できる人材です。グローバルな市場で勝負する農業の国際化や、最新技術を駆使するスマート農業などに対応できるよう多様なカリキュラムを用意しています。

新しい時代、農業分野の可能性を広げる。
多様なビジネスの視点を磨いていく。

学科の特長

1

農業の「生産管理」と「経営管理」の両方の理論を学べます。

最新の技術を使ったスマート農業など生産の現場は大きく進歩しています。基礎から先進的な生産技術まで理解できるよう多角的なカリキュラムを用意しています。また農業をしっかりと事業として運営していくために、経営に関わる知識も学びます。さらに時代の動き、国際情勢を理解することなど柔軟な対応力を身につけることも大切なポイントです。

学科の特長

2

学内外での豊富な実習で学べます。

学内実習：学内圃場で基礎から先進的なものまで生産技術を学ぶ。学内加工施設で6次産業化の基礎から販売まで学ぶ。
実地体験実習：優れた農業経営体で経営実態の理解を深める。
臨地実務実習：東北6県の農業経営体で、生産技術及び経営管理に関する知識、技術、経営戦略等を学ぶ。
国際農業・森林業実習（自由科目）：海外の大学や先進農業地で農業経営の実態を学ぶ。

学科の特長

3

幅広い分野が学べます。

本学科では農業に密接に関連する分野も学修することができます。（例えば、食品製造・販売、発酵学・醸造学など）これらは将来の事業展開や経営のさらなる発展につながる可能性があります。

地域の課題を解決できる
未来の農業経営者としての力を養う。

食料を生産し、豊かな農村を担う農業経営者が求められています。農業に興味があれば農業経営者になる素質があります。農業経営学科は、その素質の発揮に必要な生産理論や技術などの知識と経験を獲得でき、優れた経営を行う経営者に会い、学べます。生産管理と経営管理などを体系的にそして集中的に学ぶ「職業専門科目」を通して東北の農業の現状と課題を理解し、地域課題の解決方法を考える力を身につけます。また、教養を深める英語や情報などの「基礎科目」と、農業経営に活かせる様々な分野の知識を獲得できる「展開科目」で経営者としての視野を広げることができます。そして、学んだことを活かし実践するために自ら目指す農業経営を行うための分析・計画作りを実習先の経営者と教員がサポートします。農業経営者を目指すみなさんを待っています。

東北農林専門職大学
農林業経営学部
学部長 兼 農業経営学科 学科長予定者

小沢 亙
Wataru Ozawa

PROFILE 博士（農学）（東北大学）
専門分野：農業経済学

秋田県立農業短期大学、山形大学農学部等で農業経営・経済の教育と経営効率性、地域の合意形成、農業者のモチベーションを研究。山形県農業・農村政策審議会会長を長年にわたり務める。山形大学名誉教授

4年間の学びのイメージ

1年

農業の分野全般にわたる講義・演習と実習などを通じ、自分が将来的に経営したい分野への理解を深める。

2年

自らが将来経営の軸にしたい分野を中心とした生産管理の学びなどを深める。

3年

農業経営に必要なとなる経営管理の学びなどを深める。

4年

これまで学んだ生産管理及び経営管理の学びなどを総合化し、就農に備える。

「臨地実務実習」は2年次から4年次まで毎年30日×3＝計90日間



安定した雇用を守るためにも
しっかりとした経営を
続けていきます。

臨地実務実習先紹介 1

インターネットも活用して、
井上農場のファンを増やしたい。

祖父の代から家業として農業を営んできましたが、時代とともに変化している部分があると実感しています。例えばインターネットで米や作物を消費者の方へ直接販売できるようになりました。ただうちではあくまでお客様とつながりを持つひとつの手段として使うよう意識しています。百貨店の展示会などで知った方が買いやすくなるなど、顔を知る相手との交流も大切です。井上農場の米だからというファンを作りたいですね。また地域の若い世代が働きたいところとして魅力に感じてもらえるような環境も整えつつあります。法人化もその一環で、雇用主としての責任も大きくなっていると自覚して安定経営に努めています。



株式会社井上農場
専務取締役
井上 貴利

PROFILE
株式会社井上農場
山形県鶴岡市渡前字白山前14
https://inoue.farm/
交流施設・ライスセンター
山形県鶴岡市渡前字山道東91

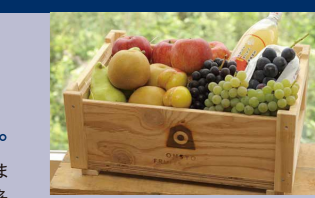


時代の流れを読み、
危機を乗り越え、
新しい果樹の
ビジネスを展開。

臨地実務実習先紹介 2

震災を機に6次産業化を推進。
コロナ禍も続々アイデア実現で乗り越える。

この観光果樹園には、かつては大型バスが次々と詰めかけました。しかし東日本大震災で来園者は激減し、さくらんぼの多くを廃棄することに。しかし廃棄するのは忍びないと冷凍さくらんぼやさくらんぼ果汁を活用したソフトクリームを開発し、2015年のカフェのオープンと同時に、敷地内のプレハブで販売したところ年間6,000個を売り上げました。さらにソフトクリームを使用したフルーツパフェは、年間20,000個売れるヒット商品に。その後6次産業化は地元の酒造会社やお菓子店と連携した商品開発へつながりました。コロナ禍を機に通信販売を強化し、減少した観光農業事業の売上をカバーしました。自販機やウェブサイトを使った企画などアイデアは尽きることがありません。



株式会社やまがた
さくらんぼファーム
代表取締役
矢萩 美智

PROFILE
株式会社やまがたさくらんぼファーム
山形県天童市大字川原字1303番地
https://www.ohsyo.co.jp/

Pick Up Curriculum

先端農業技術論

AIやドローン、ICTなどに代表される農業分野での技術革新が進む中、この新たな技術を取り入れた生産性・収益性の高い農業の実践が求められています。本科目では、各分野の専門家を招いて、先端技術の活用に向けた研究開発等の状況やその内容等について学びます。

農業経営分析・計画

農業経営は、経営状況の把握・分析をしっかりと行い、それに基づいて適正な経営計画を立案し、確実に実行していく必要があります。本科目では、経営分析や経営計画の考え方や手順、コンピュータを利用したデータ処理の技術を学びます。

農山村活性化論演習(両学科共通)

農山村の特徴を活かしながら、持続可能な農業または森林業や地域のあり方を考えるためには、生産者や経営者としての視点だけでなく、生活者である地域住民の視点で物事を考えていく必要があります。本科目では、山形県内の農山村集落の住民との交流や、ワークショップなどのフィールドワークにより地域活性化の実践的手法等を学びます。

学問理論と現場の実践。
研究者教員と実務家教員がハイブリッドな教育研究をサポートします。

農業経営学科では稲作、果樹、野菜・花き及び畜産の各専攻分野に研究能力のある教員と実務能力のある教員を配置するほか、養成する人材像に関連の高い農産加工及び経済・経営の専任教員も配置し、理論と実践とを関連づけて学べるハイブリッドな教育研究ができる体制を確保しています。

例えば、
こんな研究をしている
教員がいます

- 農林業の生態系循環と地域産業の活性化に取り組む教員
- さくらんぼの育種や栽培に長年取り組み、新品種の育種を数多く行った教員
- 和牛肉の食味の見える化の研究等を通じ、多数の特許等を取得している教員

取得を目指す資格一覧

- 小型車両系建設機械(整地、積込み、運搬)特別教育
- フォークリフト運転技能講習
- 大型特殊自動車免許(農耕用)
- 刈払機取扱作業(刈払機取扱作業安全衛生教育修了)
- 日商簿記検定(2級)※1
- 食の6次産業化プロデューサー(レベル3)※2

※1 試験範囲を網羅した授業を実施。資格取得のためには検定試験を受験して合格する必要がある。
※2 指定の科目を履修することで、資格取得の要件が満たされる。資格取得を希望する場合は、資格審査事務局に申請する必要がある。

取得学位について

農業学士
(専門職)

農業経営学科の定員および専任教員(予定)

| 農業経営学科 | 入学定員 | 収容定員 | 専任教員 | | | 教員数計 |
|--------|------|-------|---------|-------|-------|------|
| | | | 学部長・学科長 | 研究者教員 | 実務家教員 | |
| | 32 | 128+4 | 1 | 7 | 11 | 19 |

| 農業経営学科 | | カリキュラムマップ | | 教育 | | 課程 | | 卒業単位:127単位 | |
|--------------|---|--|--|--------------------------------------|--|---------|------------------|------------|------|
| 科目 単位 | 1年 | | 2年 | | 3年 | | 4年 | | 卒業単位 |
| | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | |
| 基礎 (20) | ■地域等の特性(4単位) 山形・東北の風土・伝統文化(2) | | | | 哲学と東北(2) | | | | |
| | ■コミュニケーション能力(6単位) (自由)英語基礎(2) コミュニケーション論(2) | ビジネス英語I(2) | ビジネス英語II(2) | | | | | | |
| | ■一般教養(人間と自然・スポーツ・社会・情報)(10単位) スポーツ(1) | SDGsと倫理(2) 2単位を選択 気象・気候学概論(2) 統計学(2) | 情報活用(1) 2単位を選択 政治学概論(2) 社会学概論(2) 法学概論(2) | 経済学入門(2) | | | | | |
| | ■生産理論・技術(30単位) 土壌・肥料学(2) 農業概論(4) 耕畜連携論(1) 農場実習I(8) | 農業概論演習(2) 2単位を選択 植物保護学(2) 家畜衛生学(2) | 先端農業技術論(1) 2単位を選択 栽培各論(稲作)(2) 栽培各論(果樹)(2) 栽培各論(野菜・花き)(2) 飼育各論(畜産)(2) 8単位を選択 農場実習II(稲作)(8) 農場実習II(果樹)(8) 農場実習II(野菜・花き)(8) 農場実習II(畜産)(8) | | | | | | |
| 職業専門 (79) | ■経営全般(43単位) 農業実地体験実習(1) | | SDGsと農業・森林業(2) 国際農業論(1) (自由)国際農業・森林業実習(2) | 農業政策(2) 組織マネジメント論(2) 農業経済学(2) | マーケティング論(2) 農業経営分析・計画(2) 税制・簿記論(1) | 簿記各論(1) | 農場実習III(経営総合)(8) | | |
| | ■地域課題解決能力(6単位) | | 農業生産工程・食品衛生学(2) 2単位を選択 東北の稲作(2) 東北の果樹(2) 東北の野菜・花き(2) 東北の畜産(2) | 農山村活性化論(2) 農山村活性化論演習(2) | | | | | |
| | ■応用的・創造的能力(24単位) デザイン論 デザイン論演習 金融論 金融論演習 発酵学・醸造学 発酵学・醸造学演習 建築学 | | 講義(必修:2年後期、選択:1~4年前期):2単位、演習(1~4年後期):2単位、実習(3年通年):2単位 食品製造・販売(2) | ※講義12単位と演習・実習12単位を選択 食品製造・販売実習(2) | | | | | |
| 4 総合 | ■総合的能力(4単位) | | | | | | 経営分析・計画演習(4) | | |

● 必修科目
■ 選択科目
□ 自由科目(自由科目は卒業単位に含めない)

農林業経営学部

森林業経営学科

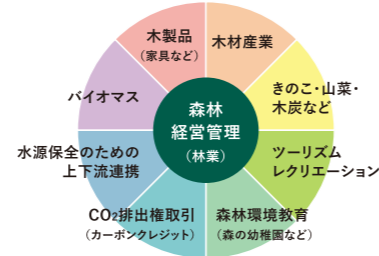
森林業の新しい価値を創造していく人材を育てる。

森林業経営学科では、従来の林業より幅広い、林業を起点とした森林資源のフル活用に取り組む「森林業」の分野で活躍できる人材を育成します。環境問題や国際情勢の変化にも対応できる経営センスと、様々な機器の進歩をチャンスと捉えられるポジティブに考えられる人材を育成していきます。

林業を起点とした森林資源のフル活用に取り組み、時代の要請に応えるビジネスを構築。

「森林業」の概念

※林業を起点とした森林資源のフル活用



1 学科の特長

森林業の「生産管理」と「経営管理」の両方の理論を学べます。

現場では機器の飛躍的な進歩により自動化、省人化が進み、労働環境も大きく変化しています。基礎から先進的な生産技術まで理解できるよう多角的なカリキュラムを用意しています。またしっかり事業として運営していくために、経営に関わる知識も学びます。さらに時代の動き、国際情勢を理解することなど柔軟な対応力を身につけることも大切なポイントです。

2 学科の特長

学内外での豊富な実習で学べます。

学内実習:学内演習林で基礎から先進的なものまで生産技術を学ぶ。学内加工施設で木材・加工・販売を学ぶ。
実地体験実習:優れた森林業事業体で経営実態の理解を深める。
臨地実務実習:東北6県の森林業事業体で、生産技術及び経営管理に関する知識、技術、経営戦略等を学ぶ。
国際農業・森林業実習(自由科目):海外の大学や先進森林業地で森林業経営の実態を学ぶ。

3 学科の特長

幅広い分野が学べます。

本学科では森林業に密接に関連する分野も学修することができます。(例えば、森林生態系サービス保全利用論など)これらは将来の事業展開や経営のさらなる発展につながる可能性があります。

森林の可能性を広げて多様なビジネスを展開できる経営者へ。

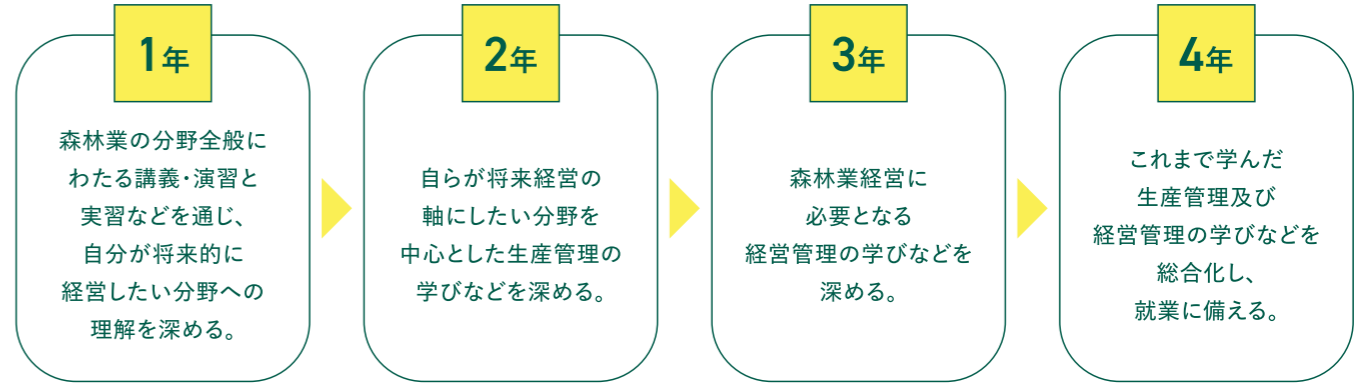
森林は、木材やきのこなどの生産のほか、美しい景観を形づくるとともに、渇水や洪水の緩和、山地災害の防止、地球温暖化防止などの生活環境の保全、レクリエーションの場の提供など様々な機能を有しており、私たちの暮らしや健康を支え、食や文化の源泉となっています。今後は、持続可能な開発目標(SDGs)などの持続可能性や脱炭素、生物多様性の保全などの直面する課題に対応するとともに、木材供給を主体とした「林業」という枠を超えて、森林の様々な恵みをフル活用したビジネスである「森林業」を創出・展開させることが求められています。森林業経営学科では、実習などを通して、国内外の先進的な取組みに接する機会が豊富にあります。ぜひ、一緒に学び、「森林業」のフロントランナーを目指しましょう!

東北農林専門職大学
農林業経営学部 森林業経営学科 学科長予定者
柴田 晋吾
Shingo Shibata

PROFILE 博士(農学)(東京大学)
専門分野:森林環境資源管理・政策
国連食糧農業機関(FAO)、上智大学教授・大学院地球環境学研究所委員長、ケンブリッジ大学客員研究員などを歴任。参加・協働による政策形成やPES(生態系サービスへの支払い)等を研究。埼玉県森林審議会会長



4年間の学びのイメージ



「臨地実務実習」は2年次から4年次まで毎年30日×3=計90日間



林業ビジネス、新しい働き方など、可能性は多様です。

臨地実務実習先紹介 1

変革期にある森林事業。その現場をリアルに体験してほしい。

有限会社庄司林業は県土面積の約7割が森林という森林王国・山形にあって、村山地区を中心に国有林、民有林の森林環境保全整備や育種管理事業を行っています。また消費者向けに食器類などの木製品や樹木系アロマオイルなど事業展開の多様化も試みています。森林に関わる仕事は近年、特殊大型機械の導入によってかなり省人化され、レーザー測量、森林情報管理のデジタル化なども進み、まさに変革期にあるといえるでしょう。当社で実習される方にはリアルな体験をしていただける環境を準備したいと思っています。



有限会社 庄司林業
代表取締役社長
庄司 樹

PROFILE
有限会社庄司林業
山形県西村山郡大江町大字沢口
842-12
<https://shoji-forestry.jp/>



臨地実務実習先紹介 2

地域の山々を守りながら多彩に事業展開する製材メーカー。

SDGsというキーワードをよく聞くようになりました。しかし元々山形の山々の木々は先祖が切っては植えながら活用してきた持続可能な資源です。1本の苗木を植えてから利用できるまで60年と、人間の一生の時間ほど。だからこそ大切に活用し、山々の環境を守ることに還元していかなければなりません。株式会社庄司製材所はより無駄なく効率的に木々を活用できるアイデアをメーカーに提供し、大型の製材機械の開発にも協力しています。また端材等を活用した木質バイオマスに商品も好評です。さらに木材の直販店、ウッドショップマルエスなど多彩に事業展開しています。



株式会社 庄司製材所
代表取締役
庄司 和敏

PROFILE
株式会社庄司製材所
山形県最上郡真室川町大字
大滝108-2
<https://maruesu.yamagata.jp/>



地域資源としての山林は、ずっと昔からSDGsです。



Pick Up Curriculum

先端森林業技術論

近年はスマート林業の取組みや林業イノベーションが進み、AIやICTを利用した先端技術の複合化によって、造林から流通に至る全段階で効率的な管理・運営を行い、需給予測または木材のオンデマンド供給に基づく収益性が高い森林業経営が求められています。本科目では、研究開発等の状況を踏まえ、先端技術(CT、レーザー森林解析、ロボットなど)の活用方法などについて学びます。

森林生態系サービス保全利用論

生態系のさまざまな恵みのことを生態系サービスと呼んでいます。持続可能な社会の構築のためには、これらの生態系サービスを最大限生かしていく必要があります。本科目では、森林生態系サービスの保全利用に関する基礎的な知識を学ぶとともに、森林サービス産業などの新ビジネスの創設やPES(生態系サービスへの支払い)について学びます。

SDGsと農業・森林業(両学科共通)

森林業と自然環境との共存は重要であり、農地・森林環境は食料・木材等生産物の安定供給という生産機能のほか、人類社会の持続可能な発展や地球環境の保全等において多面的な機能を発揮しています。本科目では、農業・農村の有する多面的機能、森林環境の提供しているさまざまな生態系サービスや持続可能な農業・森林業へ向けた取組みの進め方や、森林業生産に起因する環境問題とその対策について考え、SDGsの達成・実現に向けた農業・森林業のあり方について学びます。

取得を目指す資格一覧

- 刈払機取扱作業(刈払機取扱作業安全衛生教育修了) ■チェーンソーによる伐木造材作業等の特別教育
 - 小型車両系建設機械(整地、積込み、運搬)特別教育 ■車両系建設機械運転技能講習(整地・運搬・積込み・掘削)
 - 伐木等機械の運転の業務に係る特別教育 ■走行集材機械の運転の業務に係る特別教育
 - 簡易架線集材装置の運転又は架線集材機械の運転の業務に係る特別教育
 - 赤十字救急法基礎講習(赤十字ベーシックライフサポーター認定証)
 - 赤十字救急法救急員(赤十字ファーストエイドプロバイダー)認定証 ■日商簿記検定(2級)※1 ■森林情報士2級(森林GIS)※2
- ※1 試験範囲を網羅した授業を実施。資格取得のためには検定試験を受験して合格する必要がある。
 ※2 指定の科目を履修することで、資格取得の要件が満たされる。資格取得を希望する場合は、資格審査事務局に申請する必要がある。

取得学位について

森林業学士
(専門職)

大学としての学問理論と森林業の現場の実践。研究者教員と実務家教員がハイブリッドな教育研究をサポートします。

森林業経営学科は森林資源管理及び森林資源利活用の各専攻分野に研究能力のある教員と実務能力のある教員を配置し、理論と実践とを関連づけて学べる、ハイブリッドな教育研究ができる体制を確保しています。

- 例えば、こんな研究をしている教員がいます
- 森林の多面的機能に資する森林を造成する技術や生態系を管理する技術を研究している教員
 - スマート森林業実施のための先端的森林施業技術を研究している教員
 - 森林サービス産業と革新的な森林ビジネスを研究している教員

森林業経営学科の定員および専任教員(予定)

| 森林業経営学科 | 入学定員 | 収容定員 | 専任教員 | | | 教員数計 |
|---------|------|------|------|-------|-------|------|
| | | | 学科長 | 研究者教員 | 実務家教員 | |
| | 8 | 32+4 | 1 | 4 | 4 | 9 |

| 森林業経営学科 カリキュラムマップ | | 教育 課程 | | | | | | | | | | | | 卒業単位:132単位 |
|-------------------|--|---|---|--|---|---|-------------------------------|----|----|----|----|----|--------------|------------|
| 科目 | 1年 | 2年 | | 3年 | | 4年 | | | | | | | | |
| | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 |
| 基礎(20) | ■地域等の特性(4単位) 山形・東北の風土・伝統文化(2) | | | | | | 哲学と東北(2) | | | | | | | |
| | ■コミュニケーション能力(6単位) (自由)英語基礎(2) コミュニケーション論(2) | ビジネス英語I(2) | ビジネス英語II(2) | | | | | | | | | | | |
| | ■一般教養(人間と自然・スポーツ・社会・情報)(10単位) スポーツ(1) | SDGsと倫理(2) 2単位を選択 気象・気候学概論(2) 統計学(2) | 情報活用(1) 2単位を選択 政治学概論(2) 社会学概論(2) 法律学概論(2) | 経済学入門(2) | | | | | | | | | | |
| 職業専門(84) | ■生産理論・技術(32単位) 森林土壌・樹木学(2) 造林学(2) 森林生産学(2) 森林労働安全衛生論(1) 演習林実習I(8) | 非木材森林産品概論(1) 森林保護学(2) 森林保全学(2) | 測量学(2) 森林情報学(1) | 先端森林業技術論(1) 演習林実習II(8) | | | | | | | | | | |
| | ■経営全般(46単位) 森林業実地体験実習(1) | | SDGsと農業・森林業(2) 臨地実務実習I(生産管理等)(8) 国際森林業論(1) (自由)国際農業・森林業実習(2) 木質科学概論(2) | SDGsと農業・森林業(2) 臨地実務実習II(経営管理等)(8) 国際森林業論(1) (自由)国際農業・森林業実習(2) 木材加工・販売実習(2) | 森林環境政策(2) 組織マネジメント論(2) 森林経営管理学(2) どちらか1つの履修時期を選択 | マーケティング論(2) 森林業経営分析・計画(2) 税制・簿記論(1) | 簿記各論(1) 臨地実務実習III(経営総合)(8) | | | | | | | |
| | ■地域課題解決能力(6単位) | | 2単位を選択 東北の森林資源管理(2) 東北の森林資源利活用(2) | 農山村活性化論(2) 農山村活性化論演習(2) | | | | | | | | | | |
| 展開(24) | ■応用的・創造的能力(24単位) デザイン論 デザイン論演習 金融論 金融論演習 発酵学・醸造学 発酵学・醸造学演習 建築学 建築学演習 社会福祉論 社会福祉論演習 栄養学 栄養学演習 山形・東北観光学 山形・東北観光学演習 | | 講義(必修:2年前期、選択:1~4年前期):2単位、演習(必修:2年後期、選択:1~4年後期):2単位 森林生態系サービス保全利用論(2) 森林生態系サービス保全利用論演習(2) | ※講義12単位と演習12単位を選択 | | | | | | | | | | |
| | ■総合的能力(4単位) | | | | | | | | | | | | 経営分析・計画演習(4) | |

● 必修科目
■ 選択科目
□ 自由科目(自由科目は卒業単位に含めない)

学費・奨学金・入試情報

入学科・授業料

| 入学審査料 | 入学料 | 授業料(年額) |
|---------|--------------------------------|----------|
| 17,000円 | 山形県内者282,000円 山形県外者564,000円 | 535,800円 |

※この他、実習実験費等の納付を別途求めることがあります。具体的内容及び金額については今後検討します。
※以上の内容は予定であり、変更となる場合があります。

奨学金情報

■文部科学省／高等教育の修学支援新制度(給付型奨学金、授業料の減免)

■日本学生支援機構の奨学金

■農林水産省／新規就農者育成総合対策(就農準備資金)

都道府県が認める道府県の農業大学校等の研修機関等で研修を受ける就農希望者に、最長2年間、月12.5万円(年間最大150万円)を交付します

就職・キャリア情報

目指せる業界・職業

農業経営学科

■独立就農 ■農業法人 ■農業関連団体 など

※山形県立農林大学校の就職実績の一例

(2019～2021年度)

■農業法人

(株)鈴木農園、丸松農園(株)、(株)四季ふぁ～む、
農事組合法人くだもの畠、後藤農園、(株)アグリラボ、
農事組合法人アグリサービスこぐわ、
じろべ農園、(有)山口畜産、(株)尾崎牧場、
(株)平田牧場、(有)水上畜産

■農業関連団体等

みちのく村山農業協同組合、もがみ中央農業協同組合、
山形おきたま農業協同組合、庄内みどり農業協同組合、
(株)山形県食肉公社、奥羽乳業協同組合、
(株)南東北クボタ、カネコ種苗(株)

森林業経営学科

■森林組合 ■素材生産事業体
■製材・木材加工事業体 ■森林業関連団体・企業
■官公庁 など

※山形県立農林大学校の就職実績の一例

(2019～2021年度)

■森林組合

最上広域森林組合、西村山地方森林組合、
米沢地方森林組合、北庄内森林組合、栗駒高原森林組合

■素材生産事業体

(有)庄司林業、(株)遠田林産、(株)荒正、井上林業、
(株)仙台林業

■製材・木材加工事業体

協和木材(株)、相原木材(株)、(株)スペースパーツ

■林業関連団体・企業、官公庁

(株)最上まいたけ、(株)シェルター、(株)エフバイオス、
(公財)キープ協会、高畠町役場

入試情報

東北農林専門職大学では、「学生受入れの方針」をふまえ、以下の入試内容を適切に組み合わせて実施します。

| 区分 | 一般選抜 | 総合型選抜 | 指定校推薦型選抜 | 特別選抜 (社会人、私費外国人留学生) |
|------|---|---|---|--|
| 対象 | 山形県内外を問わず、農業又は森林業に高い関心を持ち、農業又は森林業の課題解決や持続可能な地域の発展に貢献する意欲がある者 | 高等学校等を卒業見込み又は卒業しており、本学が指定する基準以上の学業成績があり、農業又は森林業に高い関心を持ち、課題解決や持続可能な地域の発展に貢献する意欲がある者(旧AO入試) | 指定する高等学校を卒業見込みで、本学が指定する基準以上の学業成績があり、農業又は森林業に高い関心を持ち、課題解決や持続可能な地域の発展に貢献する意欲があると校長が認め、及び推薦する者 | 社会人：満22歳以上かつ勤務経験3年以上の者 私費外国人留学生：日本語能力試験でN2以上の成績を修めた者または相当と認められる日本語能力を有する者 |
| 選抜方法 | ●大学入学共通テスト3科目 ・英語(コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ、英語表現Ⅰ) ・数学(①数学Ⅰ、②数学Ⅰ・Aのいずれかを選択) ・理科(①物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎※、②物理、③化学、④生物、⑤地学のいずれかを選択。 ※①の場合、出題範囲4科目から2科目を選択) ●小論文 ●面接 ●調査書 ●志望理由書 | ●調査書 ●小論文 ●面接 ●志望理由書 | ●調査書 ●面接 ●志望理由書 | ●書類 ●面接 ●志望理由書 |
| 人数 | 農業経営学科 10名 森林業経営学科 2名 | 農業経営学科 10名 森林業経営学科 2名 ※東北6県の高校出身者向けの優先枠を設ける | 農業経営学科 12名 森林業経営学科 4名 ※山形県内高校から推薦 | 農業経営学科 各1名 森林業経営学科 各1名 ※総合型選抜の内数 |
| 日程 | 出願期間：2024.1.22～2024.2.2 試験日：2024.2.25～2024.2.26 | 出願期間：2023.10.10～2023.10.20 試験日：2023.11.11 | 出願期間：2023.11.1～2023.11.10 試験日：2023.12.2 | 出願期間：2023.10.10～2023.10.20 試験日：2023.11.11 |

入学者選抜要項は大学のホームページ(<https://www.ynodai.ac.jp/university/>)から取り寄せることができます

※2024年度入学生向けの試験のみ大学入学共通テストを用いず、共通テストに準じた独自テストで実施します。独自テストの英語にリスニングは含まれません。
※科目等履修生及び聴講生も受け入れる予定です。

就職支援情報

就農・就業等に向け、学内に「キャリアサポート・研修センター」を設置し、関係機関等と連携して強力にサポートします。

●在学中の支援

学生のキャリア形成支援として、1年次から4年次まで体系的に農林業分野のキャリア教育講座を開講します。講座では、本学の教育課程の学修段階に応じ、山形県内外の農林業経営者を招いてのキャリアセミナーを開催するなど、本学卒業後の農林業分野への就農・就業に向けた職業意識の醸成や社会人としての責任及び自覚を促すプログラムを設けます。

●就農・就業に向けた支援

山形県において農林業への就農・就業支援を担っている公的機関と連携し、常時学生からの相談に応じ、卒業後のスムーズな就農・就業に向けた支援を行います。

また、山形県内では、「就農応援宣言・積極採用宣言」を行うなど、農林業界、行政、地域が連携し、学生の就農・就業をサポートします。

●卒業後の支援

卒業生がさらにキャリアアップするための、卒業後の段階に応じた農林業経営者向け研修プログラムの実施や、職員による卒業生の定期訪問活動など、県の農林業の普及指導員による技術等の普及・指導等により卒業後も継続的にサポートします。